

52ND Street

Opening Reception Special Live Quartet Members



山口真由子 Vibraphone

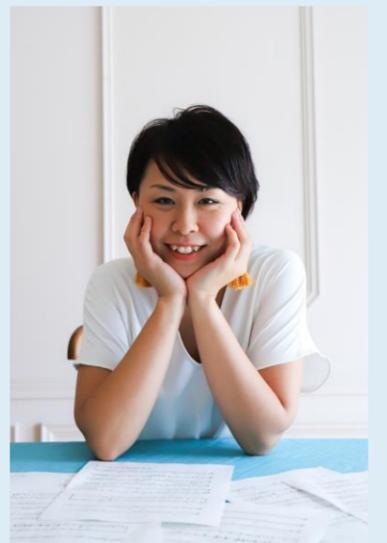
国立音楽大学卒業。同大学アドバンストコース・演奏応用(ジャズ)コース修了。第15回日本クラシック音楽コンクール打楽器部門全国大会最高位受賞。ヤマノビッグバンドジャズコンテスト全国大会において2003年度に優秀賞、2004・2005年度に最優秀賞を受賞。2004年東京JAZZ オープニングアクトに出演。2010年平城京にて行われた“平城遷都1300年祭”に楽曲提供し、好評を博す。NHK「あさイチ」、NHK Eテレ「シャキーン!」「ひみつのちからんど」に出演。NHK連続テレビ小説「わろてんか」、「機動戦士ガンダム 鉄血のオルフェンズ」などの劇中音楽に参加。日本人女性初の米国・Musser社公式エンドースメント契約アーティスト。

菊地まゆ子 Piano

ピアニスト。山奥の町、東京奥多摩に生まれ、たくさんの自然の中で育つ。NHKの子ども番組で弾き語りをする歌のお兄さんに憧れ、4歳でクラシックピアノを始める。大学時代からドイツリートを中心に声楽および器楽の伴奏を数多く経験。その後、ジャズやコメディなどジャンルを超えたパフォーマンスに傾倒し、音楽の世界から演劇、大道芸、キャバレーショー、ミュージカルなど幅広いフィールドでバラエティーに富むアーティストと多数共演。

現在、自己のリーダートリオ（ベース 吉川大介、ドラム 木沢幸作）のほか、ヴィブラフォン奏者山口真由子氏とのデュオ「Cocooon」や、そこにパーカッションの熊本比呂志氏が加わったトリオ「Cocoupon」、親子向けイベントのために結成した「いたずらーず」（ギター 金澤健太、ベース 菊田茂伸、ドラム 木沢幸作）の活動のほか、様々なアーティストと積極的に共演。

毒やユーモア、自分の生き方そのものを感じさせる演奏を目指し、ピアノの上でもっと自由になりたい一心で日々を過ごしている。そのプレイは「野生的」「ドラマティック」と評される。



吉川大介 Bass

富山県出身。高校時代よりエレクトリックベースを弾き始め、大学時代にジャズと出会いウッドベースに転向。同時期に演奏活動を開始する。その後上京し、ジャズベースの重鎮、鈴木良雄氏にベース奏法、音楽理論の基礎を師事。同時にボーヤとして演奏の現場を見て学ぶ。

また、クラシック奏法の基礎を松野茂氏に師事。

堅実なベースプレイとメロディックでユーモラスなソロに定評がある。

田中嘉明トリオの「Sound of Joy」、G-ENUINESの「genuine」、Akiko Kaminagane Trioの「Pleasant Time」、「Prayer」など様々なレコーディングにも参加。

Abbey(アビー) Drums

ドラマー/音楽作家

福島県福島市出身。高校までオーケストラでトランペットを演奏。読売交響楽団・板倉駿夫氏に師事。その後ドラマーに転向し主にジャズの現場でプロ活動を開始。ドラムを小山太郎氏に師事。

現在は演奏活動と共に音楽制作チームWEARTで楽曲提供・プロデュースを行なっている。

